

「令和元年度旭区運営方針 主な事業・取組」の振り返りについて

基本目標		子育て世代をはじめ多くの方々へ選ばれ続ける「ふるさと旭」の実現 ～「安心」「健やか」「ふるさと」～	
事業名	事業内容	振り返り	
安心・健やかな暮らしの推進	地域福祉保健計画の推進	子ども、青少年、障害児・者、高齢者等すべての人が健康でしあわせな生活を送れることを目指して、行政はもとより区民の皆様をはじめ、自治会町内会、社会福祉協議会、地域ケアプラザ、福祉施設、各種団体等が協働して取り組めます。 また、令和3年度から運用を開始する第4期計画の策定を進めます。	【福祉保健課】 ・旭区福祉保健推進会議（2回：6月26日、1月29日） ・策定検討部会（4回：8月5日、10月28日、11月22日、3月2日） ・きらっとあさひ地区連絡会（9月18日） ・地域福祉保健計画地区別計画パネル展示（1月8日～1月15日） ・きらっとあさひ福祉大会（2月8日 約390人） 【生活支援課】 ・区レベルのセーフティネット会議（定例支援調整会議）を開催。庁内他課、関係機関、地域の支援者との顔の見える関係をつくるとともに、生活困窮をとり巻く情勢や支援の制度について共有（3回、81人） ・西部ユースプラザ、地域ケアプラザ、こども家庭支援課と共同で、ひきこもりの相談会を実施（13回、130人・うち個別相談27件） ・アウトリーチパートナー（地域の協力者）の輪を広げていくための養成講座を実施（1回、34人参加） ・ひきこもりをテーマにした、生活困窮者自立支援制度周知の講演会を実施（1回、196人参加）
	地域のつながりづくりに向けた民生委員の活動支援事業	民生委員の活動を支援することにより、地域のつながりづくりを進めます。また、民生委員の制度や活動内容を区民の皆様幅広く理解していただくよう普及啓発を行います。 次世代を担う人材を育成するために、民生委員・児童委員と協働して小学校5・6年生を対象としたジュニアボランティア体験事業を展開します。	・民生委員児童委員PRパネル展の実施 区役所1階情報発信コーナー（5月8日～5月15日）、「旭ふれあい区民まつり」（10月20日）での啓発 ・民生委員児童委員と友愛活動員など地域の福祉保健関係者が連携し、地域全体で見守りを実施（通年） ・ジュニアボランティア体験事業（279人参加） ・各地区でボランティア活動実施 ・就任式（8月1日）、バラススポーツ体験会（8月6日）、体験発表会（12月1日）開催等
	災害に強い区づくり事業	地域防災拠点、町の防災組織等の災害対応能力向上を図るため、防災訓練の支援や研修会を行います。また、災害時医療体制の周知を進めるとともに、災害時に備えた訓練や連絡会を通じ、医療機関等との連携を深めます。 なお、災害発生時における福祉避難所については、円滑な運営を図るため、連絡会や開設・運営訓練を実施します。	【総務課】 ・ソーラーパネル、蓄電池の購入（区内全ての地域防災拠点へ納品） ・「旭区ご近助マニュアル」の作成及び各世帯へ配布 ・防災訓練（地域防災拠点：7月～12月・計31拠点・8,770人参加、地区連合：6月～11月・計16連合・約6,600人参加） ・図上訓練（地域防災拠点等24回・512人参加） ・防災講演会（12月6日、215人参加） ・区災害対策本部運営訓練（6月：風水害対策訓練、1月：地震対策訓練） ・帷子川WEBカメラ運用（最大閲覧数：3,416回/日・10月12日台風19号時） 【福祉保健課】 ・旭区災害医療連絡会議（7月24日） ・三師会合同災害時医療のぼり旗掲出訓練（10月28日～30日、参加区：旭区、保土ヶ谷区、緑区、泉区、瀬谷区、戸塚区） ・災害時医療関係施設開設状況報告訓練（10月28日～30日） ・非常用通信機器による通信訓練（偶数月、計6回） ・医療救護隊参集拠点における巡回診療用資器材の更新・整理（5月～2月） ・災害時医療普及啓発用リーフレットの地域ケアプラザへの配付（4月） ・Yナース（※）の登録事務（登録人数：18人、令和2年3月31日現在） ※Yナースとは大震災発生時に、あらかじめ登録された医師、薬剤師、市職員とともに、横浜市防災計画に基づき「医療救護隊」として活動する看護職のこと。
	地域安全安心普及推進事業	防犯・防災・交通安全が一体となった安全・安心意識啓発事業を行うとともに、自主防犯活動団体への支援を行い、「自らのまちは自ら守る」意識を高めます。また、新入学児童への防犯ブザーの配布など、こども安全安心事業を実施します。	・連合自治会町内会や単位自治会町内会が地域の実情に応じて、防犯パトロールを実施しその活動に対して助成（連合6団体、単会53団体） ・新入学児童へ防犯ブザーの配布（2,050個） ・旭区こども110番の家実行委員会への助成
	交通安全対策事業	交通安全意識の向上と交通事故防止を図るため、高齢者交通安全対策、スクールゾーン対策及び違法駐車追放対策を実施します。	・違法駐車追放対策へ連合自治会町内会に対して助成（9団体） ・スクールゾーン対策としてスクールゾーン対策協議会へ助成（24団体） ・交通安全意識の向上のため、交通事故再現（スクエアドストレイト）を1回実施
	安全で安心な食と生活環境支援事業	安全で安心な食と生活環境づくりのため、ハチ駆除ボランティアによる高齢者等世帯への支援や調理従事者への食中毒予防啓発を行います。 また、地域防災拠点で災害時のペット同行避難訓練導入支援等を実施します。	・ハチ駆除講習会（1回19人参加）、ボランティア連絡会（1回14人参加） ・食中毒予防衛生講習会（1回383人参加） ・ペット同行避難訓練（9回245人参加）
	保育所地域子育て支援事業	公立保育園で園庭開放や育児講座、絵本の貸出し等を実施し、地域での子育てを支援します。 また、臨床心理士による保育士への相談支援や研修を実施し、子どもたちがより安心して保育所で過ごせるよう、保育の充実を図ります。	・公立保育園（6園）で園庭開放等（1,078人参加）、食育講座（23講座119人参加）、絵本の貸出し（977冊）を実施（3月は休止） ・保育所での相談（公立6園362件、私立31施設241件） ・保育士を対象とした研修（2回、178人参加） ・インターンシップ生の受入れ（8人、9か月）
	親エール事業	子育てに関する困りごと、悩みの多い幼児期のコミュニケーションやしつけに関するリーフレットを作成し、子育てを応援します。リーフレットは乳幼児健診会場や地域子育て支援拠点、赤ちゃん教室等身近な場でも配布し、広く保護者に周知します。	・「ほめ上手・しかり上手でしつけ上手」のリーフレットを作成（1,000部）

安心・健やかな暮らしの推進	<p>障害者ネットワーク推進事業</p> <p>障害に対する理解が深まるよう講演会等を開催し、普及啓発活動に取り組みます。 また、障害者が地域で安心して暮らせるよう、スポーツ大会や地域での精神科嘱託医相談等を通じて、社会参加や地域生活を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旭区ふれあいスポーツ大会 1回(162人) ・精神科嘱託医派遣事業 5回(19件) ・地域精神保健福祉講座 2回(75人) ・障害者施設健康増進出前講座 6回(176人)
SDGs未来都市の市創・造	<p>旭ウォーキングムーブメント創生事業</p> <p>区民の皆様健康寿命の延伸に向け、あらゆる世代に対し、緑豊かな自然など旭区の魅力、財産を生かしたウォーキングムーブメントを創生し、いきいきと暮らせるよう持続的な取組を進めます。 ソフト、ハード両面から事業を総合的にを行い、子育て層から高齢者まで働きかけます。 また、区内に2つのモデルコースを設定し、ルート情報や沿線の見どころなどのコース情報やイベント情報など「歩いてみたくなるまち」の情報を発信することでウォーキングの普及を推進します。</p>	<p>【福祉保健課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭区散策ガイド「歩っ歩でMAP」の作成(31,000部)。区役所窓口、地域ケアプラザ、地域子育て支援拠点などで配布。 ・子育て世代の女性や運動習慣のない方に対しウォーキングを推進する人材育成講座を地域ケアプラザを会場に実施(6回、約120人)。 ・地域ケアプラザ13館を巡るウォーキングスタンプラリーの実施(11月11日～12月13日、手帳配布数約3,000部)。ウォーキングのポイントなどアドバイスを表示した健康ブレンドの設置(45個)。 <p>【地域振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングイベント年9回実施(旭ガイドボランティア共催) ・史跡の情報を発信する標柱QRコード整備を実施(15か所) ・グリーンロード案内サインの補修等を実施(29か所)
SDGs未来都市の市創・造	<p>2025年問題を見据えた大規模団地再生モデル構築事業</p> <p>若葉台団地、左近山団地、ひかりが丘住宅、西ひかりが丘団地において、大規模団地再生の区局連携事業を市内に先駆けてモデル実施しています。建物の老朽化や人口減少、超高齢化に伴い顕在化する、コミュニティの希薄化や医療・介護等のニーズの増大等に対応するため、関係区局と連携して多様なパートナーシップによる複合的な課題解決を推進し、その成果のとりまとめを行います。</p>	<p>【区政推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市旭区大規模団地再生モデル事業の成果のとりまとめ調査 ・学校跡地等の本格活用の検討(旧ひかりが丘小の地域ニーズ説明会、若葉台西・左近山小高小の調査等) <p>【高齢・障害支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護人材による地域支援活動モデル事業の実施 ・施設や関係機関の調整会議(4回)、地域活動への参加(2回)
SDGs未来都市の市創・造	<p>SDGs未来都市・横浜の郊外部モデルの創造</p> <p>若葉台や左近山等の大規模団地の再生にSDGs未来都市の視点を取り入れ、企業や大学等の新たな参画を促します。 環境面で既存住宅地の省エネルギー化・脱炭素化、経済面での地域経済活性化、社会面での超高齢社会対応など、三つの側面の同時解決を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG s 若葉台フロント(MONET Technologies(株))の技術を活用したオンデマンドバス実証実験も含め企業等の取組4件推進、2件企画) ・大規模団地における大学生による地域支援活動モデル事業の実施 ・横浜国立大学生の4人が卒業に伴い退去し、新たに5人が入居(11月に2人が退去) ・大学生の地域活動(6件)等を3月にオンライン配信にて報告(Facebook動画再生回数600回以上)、研究室活動誘致(3件)
SDGs未来都市の市創・造	<p>地域活動団体等との協働によるSDGsの広報啓発</p> <p>きらっとあさひ地域支援補助金に「SDGs取組枠」を設置して、SDGsの17の目標を事業目標に掲げて地域活動する団体を支援するとともに、団体と協働して、SDGsの広報啓発を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きらっとあさひ地域支援補助金「SDGs取組枠」を2事業に交付 ・補助団体の活動紹介冊子を作成し、各自治会町内会に配布 ・補助団体の活動発表会(一般公開)の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止
50周年を機に「選ばれ続けるまち」へ魅力継承・魅力発信	<p>旭区誕生50周年記念事業</p> <p>豊かな自然環境、活力と温もりあるコミュニティを生んだ文化・スポーツの祭典など、この50年で育んできた旭区の魅力を再認識するとともに、新たな魅力づくりを区民の皆様や企業・団体の皆様と一緒に取り組み、発信していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会、総務部会、広報部会、企画部会、区政功労者表彰選考委員会(各1回)、記念誌編集委員会(4回) ・旭区誕生50周年記念事業実施計画の策定(5月) ・記念事業紹介リーフレットの作成(7月) ・旭区誕生50周年記念事業の実施(5～1月) ・旭区誕生50周年記念誌の発行(10月) ・旭区デジタルアーカイブの公開(10月) ・相鉄線二俣川駅で旭区誕生50周年PRを実施(10月1日) ・タウンニュース特別号の発行(10月1日) ・旭区誕生50周年記念事業記録集の作成(3月)
50周年を機に「選ばれ続けるまち」へ魅力継承・魅力発信	<p>区民スポーツ事業</p> <p>11種目を小学生から高齢者の方までが地区対抗で競う「旭区民スポーツ祭」や、19地区の予選を勝ち抜いたチームが対戦する「旭区大なわとび大会」など、旭区伝統のスポーツ行事を通じて区民の皆様健康づくりを支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旭区民スポーツ祭の実施(9,305人参加) ・旭区大なわとび大会の実施(1,510人参加)
50周年を機に「選ばれ続けるまち」へ魅力継承・魅力発信	<p>読書活動推進事業</p> <p>区役所・図書館・学校の連携と市民参加により、「旭区読書活動推進目標」を改定し、本に親しめる場所や機会を増やします。さらに、旭区中学生ビブリオバトル大会や読み聞かせ等のイベントを開催し、読書活動を広げます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進目標(令和5年度までの5年計画)を改訂 ・旭区誕生50周年記念事業として「旭区ビブリオバトル大会」を創設、区内全中学生を対象に実施(79人参加) ・読書活動推進講演会の実施 ①青崎有吾先生と捜査！「図書館の殺人」現場検証図書館ツアー&講演会 7月27日(土)会場：旭図書館(40人参加) ②黒沢哲氏「手塚治虫から」昭和を覗く 11月10日(日)会場：横浜市白根地区センター(32人参加) ・本に出会える場所マップの増刷と配付(1,000部増刷)
50周年を機に「選ばれ続けるまち」へ魅力継承・魅力発信	<p>あさひ子育て保育園ひろば</p> <p>公会堂等で親子が無料で楽しめる子育て応援イベントを開催します。区内保育所等が連携して、遊びや食育、保育施設の紹介、旭区誕生50周年を契機としたウォークラリー等を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日：10/30(水) ・会場：旭公会堂、鏝の渡し緑道、旭区役所。 ・参加者：814人 ・内容：あそびのコーナー、絵本読み聞かせ、食育、ミニシアター、育児相談及び保育所入所相談等、保育施設・幼稚園の紹介パネル展示
50周年を機に「選ばれ続けるまち」へ魅力継承・魅力発信	<p>文化芸術による心の豊かさ推進事業</p> <p>文化芸術を身近に感じられる機会を提供するとともに、心豊かな区民生活の実現を図るため、区内で実施される文化芸術活動や横浜旭ジャズまつり、旭区民文化祭を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術活動支援事業：13事業を支援(13,672人参加) ・横浜旭ジャズまつり：7月28日開催(2,000人参加) ・旭区民文化祭：12事業を開催。作品展出品数91点(4,437人参加)
50周年を機に「選ばれ続けるまち」へ魅力継承・魅力発信	<p>横浜の「農」の魅力PR事業</p> <p>区庁舎での地場野菜販売や収穫体験イベント、初心者を対象とした農体験などを通じ、旭区の「農」の魅力を知っていただくとともに、地産地消を推進します。 また、農業を身近に感じられるよう、農の魅力を広報紙等で広く周知します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「あさひの朝市」(4～2月 11回)※3月中止 ・「旭ふれあい収穫祭」(6月 91人、12月荒天中止) ・農業体験事業(4～12月・12組)
50周年を機に「選ばれ続けるまち」へ魅力継承・魅力発信	<p>水・緑・花を暮らしに取り入れた旭区魅力アップ事業</p> <p>旭区の魅力である水・緑・花を身近に感じられる機会を区民の皆様と共に作ることで、「ふるさと旭」への愛着を深めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの飼育、学習会、鑑賞会、幼虫の放流の実施(1地区：若葉台) ・帷子川の環境学習の実施(5校、約300人参加) ・帷子川の生き物の水槽展示(区役所1階) ・楽しくお家でエコ！実践講座の実施(10回、約250人参加) ・緑のカーテン栽培講座実施(1回、約80人参加) ・小中学校、保育園等への緑のカーテン資材提供(小中学校15校、保育園等28園) ・自治会町内会等への花苗配布(春13,230ポット、秋12,347ポット)